



友情合宿によせて

中学校に入学して、おおよそ1ヶ月が過ぎようとしています。朝、「おはようございます。」と会釈をしながら校門を通り過ぎる皆さん。授業中、先生の話真剣な眼差しで見つめたり、友だちと考えを出し合ったりする皆さん。とても頼もしく見えています。

さて、5月の岐阜市少年自然の家の宿泊学習。本校では友情合宿と名づけています。自然の中での活動を通して、友だちに対して共感や信頼する気持ちをいただきながら、肯定し合う仲間関係を築いてほしいという願いがそこにあります。

1年生の皆さんは、友情合宿のスローガンのメインタイトルを「みんなが1つに」、サブタイトルを「楽しむ 協力 仲間を大切に」としました。中学校生活を実りあるものにするためには、みんなが1つになるということが大切であると。そのためには、楽しむこと、協力すること、仲間を大切にすることをめざしていけばよいのだと。そういった想いが伝わってきます。

まだ、中学校に入学して1ヶ月あまり。これから仲間どうしで助けあい、励ましあい、時には厳しい要求や指摘をしあいながら高めあえる1年生の学年集団を築いていくことと思います。その過程で、個人個人も大きく成長していくことでしょう。

どんな小さなことでも構いません。友情合宿でみんなが1つになった小さな事実を積み重ねていきましょう。全員が時間を守れた。あいさつできた。楽しめた。そういったことで十分です。めざす学年になるには、まずは全員がこの学年、この学級でよかったと思えることです。全員が思いっきり楽しめた。それができれば、この友情合宿は大成功です。